



2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年11月10日

上場会社名 日本紙パルプ商事株式会社 上場取引所 東
 コード番号 8032 URL <https://www.kamipa.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 渡辺 昭彦
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部本部長 (氏名) 藤井 賢一郎 (TEL) 03(3534)8522
 四半期報告書提出予定日 2020年11月13日 配当支払開始予定日 2020年12月1日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	224,787	△15.0	3,643	△34.3	3,657	△29.0	1,630	△51.3
2020年3月期第2四半期	264,384	1.7	5,544	7.4	5,149	△3.5	3,348	13.0

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 461百万円(△53.1%) 2020年3月期第2四半期 983百万円(△75.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	119.23	118.85
2020年3月期第2四半期	238.54	237.48

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	314,568	81,780	24.1
2020年3月期	341,939	87,246	23.5

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 75,823百万円 2020年3月期 80,302百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	55.00	—	55.00	110.00
2021年3月期	—	55.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	55.00	110.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	438,000	△18.1	7,200	△34.1	7,200	△26.5	3,000	△40.6	219.45

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 - 社(社名) 、除外 - 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期2Q	15,021,551株	2020年3月期	15,021,551株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	1,348,843株	2020年3月期	1,371,182株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期2Q	13,671,699株	2020年3月期2Q	14,036,856株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
(追加情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における当社グループの業績は売上高224,787百万円(前年同期比15.0%減)、営業利益3,643百万円(同34.3%減)、経常利益3,657百万円(同29.0%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益1,630百万円(同51.3%減)となりました。

当第2四半期連結累計期間の業績をセグメント別にみると次のとおりです。

「国内卸売」

新型コロナウイルスの感染拡大により紙・板紙の需要が急激に減少しました。緊急事態宣言の解除後は社会経済活動が徐々に再開されているものの、各種イベントの開催規模の縮小や中止、在宅勤務の増加等、活動の制限が続く中、紙に関しては、コミックや学参書等の需要が増加した一方で、チラシやイベントのパンフレットやポスター等の需要が大幅に減少しております。板紙に関しても、通販関連や加工食品向けの需要は増加したものの、不振が続く輸出梱包関連や天候不良により青果物向けでも需要は減少しました。これらの結果、売上高は前年同期比18.8%減の119,602百万円となり、経常利益は52.5%減の1,272百万円となりました。

「海外卸売」

前第2四半期連結会計期間末に連結の範囲に加わったRADMS Paper Limited傘下のPremier Paper Group Limitedの業績が期首より反映されているものの、新型コロナウイルスの感染拡大による社会経済活動の制限の影響で紙・板紙の需要が大幅に減少し、売上高は前年同期比10.1%減の77,852百万円となりました。また、利益面では売上高の減少とRADMS Paper Limitedののれん償却費の増加などにより411百万円の経常損失(前年同四半期連結累計期間は277百万円の経常損失)となりました。

「製紙及び加工」

再生家庭紙事業において、前年は10月に実施された消費増税前の駆け込み需要があり、当第2四半期連結累計期間は、新型コロナウイルスの感染拡大による前事業年度末の需要増の反動減があったため、売上高は前年同期比14.1%減の10,847百万円となりました。経常利益は、再生家庭紙及び段ボール原紙の販売が減少したことにより29.2%減の2,376百万円となりました。

「資源及び環境」

売上高は、総合リサイクル事業、再生可能エネルギーによる発電関連事業が増加したものの、国内古紙事業において、国内製紙メーカーの生産数量減少に伴い原料古紙の販売数量が減少したことにより、前年同期比8.6%減の13,876百万円となりました。一方、利益面では総合リサイクル事業等の堅調な事業分野の収益に加え、販売費及び一般管理費の減少等により368百万円の経常利益(前年同四半期連結累計期間は28百万円の経常損失)となりました。

「不動産賃貸」

テナントビルの高稼働が継続しており、売上高は前年同期比0.2%減の2,610百万円、経常利益は1.5%増の819百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けた売上高の減少による売上債権の減少及びたな卸資産の減少等により、前連結会計年度末に比べて27,370百万円減少し、314,568百万円となりました。

総負債は、仕入債務の減少等により、前連結会計年度末に比べて21,904百万円減少し、232,788百万円となりました。

純資産は、連結子会社であるRADMS Paper Limitedの株式追加取得による資本剰余金の減少及び在外子会社の四半期末為替換算時の円高に伴う為替換算調整勘定の減少等により、前連結会計年度末に比べて5,466百万円減少し、81,780百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年8月11日に公表いたしました連結業績予想数値の修正はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,627	11,571
受取手形及び売掛金	127,748	102,869
たな卸資産	40,470	37,891
その他	3,858	3,548
貸倒引当金	△1,243	△1,036
流動資産合計	178,460	154,844
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	47,735	46,336
土地	33,075	32,499
その他(純額)	34,034	34,407
有形固定資産合計	114,844	113,241
無形固定資産		
のれん	6,705	5,546
その他	2,109	2,072
無形固定資産合計	8,814	7,618
投資その他の資産		
投資有価証券	31,771	31,679
その他	10,068	9,167
貸倒引当金	△2,140	△2,091
投資その他の資産合計	39,700	38,755
固定資産合計	163,358	159,614
繰延資産	120	110
資産合計	341,939	314,568

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	91,209	77,150
短期借入金	39,430	43,677
1年内返済予定の長期借入金	13,385	5,084
コマーシャル・ペーパー	10,000	11,500
1年内償還予定の社債	23	23
未払法人税等	2,693	1,300
引当金	2,791	2,155
その他	11,217	10,239
流動負債合計	170,747	151,127
固定負債		
社債	30,034	30,023
長期借入金	35,418	33,951
引当金	1,099	1,104
退職給付に係る負債	6,146	6,081
その他	11,248	10,503
固定負債合計	83,945	81,662
負債合計	254,693	232,788
純資産の部		
株主資本		
資本金	16,649	16,649
資本剰余金	10,452	7,278
利益剰余金	54,243	54,401
自己株式	△5,207	△5,118
株主資本合計	76,138	73,210
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,217	4,576
繰延ヘッジ損益	1	0
為替換算調整勘定	64	△933
退職給付に係る調整累計額	△1,118	△1,030
その他の包括利益累計額合計	4,164	2,613
新株予約権	152	117
非支配株主持分	6,792	5,840
純資産合計	87,246	81,780
負債純資産合計	341,939	314,568

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
売上高	264,384	224,787
売上原価	231,272	194,684
売上総利益	33,111	30,102
販売費及び一般管理費	27,568	26,460
営業利益	5,544	3,643
営業外収益		
受取利息	36	143
受取配当金	390	415
持分法による投資利益	175	107
その他	410	424
営業外収益合計	1,012	1,089
営業外費用		
支払利息	1,076	956
その他	331	118
営業外費用合計	1,407	1,074
経常利益	5,149	3,657
特別利益		
投資有価証券売却益	12	128
固定資産売却益	259	19
負ののれん発生益	442	—
段階取得に係る差益	83	—
その他	25	—
特別利益合計	821	147
特別損失		
クレーム補償損失	—	147
廃棄物処理費用	—	133
事業構造改善費用	—	124
固定資産処分損	74	45
投資有価証券売却損	—	5
投資有価証券評価損	6	—
その他	3	4
特別損失合計	84	458
税金等調整前四半期純利益	5,886	3,346
法人税、住民税及び事業税	2,090	1,396
法人税等調整額	△200	△108
法人税等合計	1,891	1,287
四半期純利益	3,995	2,059
非支配株主に帰属する四半期純利益	646	429
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,348	1,630

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	3,995	2,059
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,560	△711
繰延ヘッジ損益	△3	△1
為替換算調整勘定	△510	△1,076
退職給付に係る調整額	155	88
持分法適用会社に対する持分相当額	△93	102
その他の包括利益合計	△3,011	△1,598
四半期包括利益	983	461
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	289	79
非支配株主に係る四半期包括利益	695	382

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は2020年7月6日付で、連結子会社であるRADMS Paper Limitedの株式を追加取得いたしました。これにより、当第2四半期連結累計期間において、資本剰余金が3,087百万円減少しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント					合計 (百万円)	調整額 (百万円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円)
	国内卸売 (百万円)	海外卸売 (百万円)	製紙及び 加工 (百万円)	資源及び 環境 (百万円)	不動産賃貸 (百万円)			
売上高								
外部顧客への売上高	147,320	86,640	12,630	15,180	2,614	264,384	—	264,384
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4,547	408	13,876	3,619	63	22,513	△22,513	—
計	151,867	87,048	26,506	18,799	2,677	286,897	△22,513	264,384
セグメント利益 又は損失(△)	2,679	△277	3,356	△28	807	6,536	△1,387	5,149

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社部門の損益△672百万円が含まれております。全社部門の損益は、主に各報告セグメントに帰属しない一般管理費、営業外収益、営業外費用の純額であります。

2 報告セグメントごとの資産に関する情報

(子会社の取得による資産の著しい増加)

当第2四半期連結会計期間において、RADMSグループを連結子会社としたことに伴い、前連結会計年度末日に比べ、「海外卸売」のセグメント資産が15,512百万円増加しております。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

当第2四半期連結会計期間において、RADMSグループを連結子会社としたことに伴い、「海外卸売」セグメントにおいて、のれん4,047百万円を計上しております。なお、当第2四半期連結会計期間末においては、取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額であります。また、当第2四半期連結会計期間においては貸借対照表のみを連結しているため、のれん償却費はセグメント利益には含まれておりません。

(重要な負ののれん発生益)

第1四半期連結会計期間において、当社が株式会社丸二ちきりやの株式を追加取得し、同社を持分法適用関連会社より連結子会社に変更いたしました。これに伴い、「国内卸売」セグメントにおいて、負ののれん発生益442百万円を計上しております。なお、負ののれん発生益は特別利益のため、セグメント利益には含めておりません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント					合計 (百万円)	調整額 (百万円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円)
	国内卸売 (百万円)	海外卸売 (百万円)	製紙及び 加工 (百万円)	資源及び 環境 (百万円)	不動産賃貸 (百万円)			
売上高								
外部顧客への売上高	119,602	77,852	10,847	13,876	2,610	224,787	—	224,787
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,126	554	11,755	2,948	52	18,435	△18,435	—
計	122,728	78,406	22,602	16,824	2,662	243,222	△18,435	224,787
セグメント利益 又は損失(△)	1,272	△411	2,376	368	819	4,425	△767	3,657

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社部門の損益△129百万円が含まれております。全社部門の損益は、主に各報告セグメントに帰属しない一般管理費、営業外収益、営業外費用の純額であります。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積り)

世界的な新型コロナウイルス感染拡大の当社グループ業績への影響は引き続き不透明ではありますが、当第2四半期連結累計期間の業績および現時点において入手可能な情報を踏まえ、新型コロナウイルス感染拡大による社会経済活動の制限の影響で大幅に減少した紙・板紙の需要が当連結会計年度を通じてゆるやかに回復に向かうという前提のもと、繰延税金資産の回収可能性等の会計上の見積りを行っております。

なお、新型コロナウイルス感染症は感染拡大の規模や収束時期等に関して不確実性が大きいと見られており、今後の状況によっては当社グループの事業に大きな影響を与える可能性があります。